



浄土宗コドモタイムズ

第58号

発行
浄土宗児童教化連盟

発行人
三宅 明信
〒833-0013
筑後市北長田706-2
林鐘院内
TEL 0942-52-5524
FAX 0942-54-1189

冬
蛾

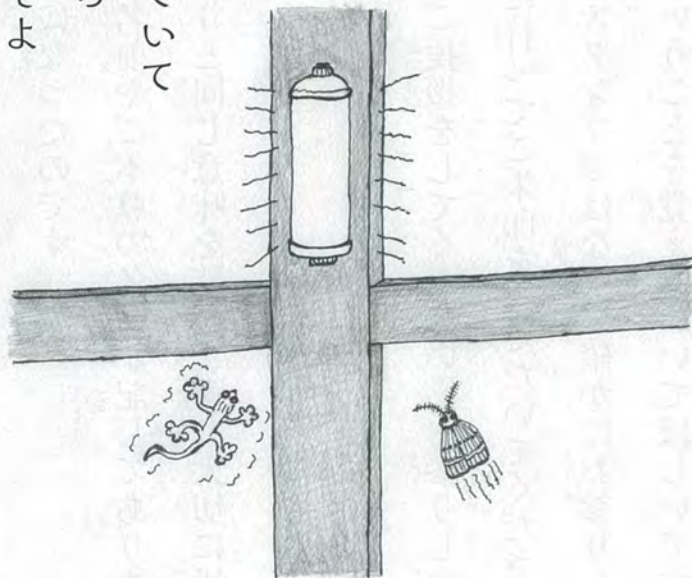
冬蛾
灯火でじっとして
竹やぶあたりから
そよそよ そよそよ
冷たい風が吹いていた

ガサガサ ガサゴンと
腰ふって

ヤモリの兄きはやつてきて
シュツシュツ シュツシュツと
息をはく

冬蛾
白壁でじっとして
ロケットのように三角で
発射時刻をまっていた
いつまで いつまで
まっていた

詩・絵 今井 康隆



仏教と植物

「ウドンゲ」

ウドンゲは優曇華と書きます。日本名ではフサナリイチジクといいます。実はぶどうの房が幹にぶら下がるような形でつき、イチジクに似て甘くておいしいそうです。花がイチジクと同じように花托に包まれていて外から見えないので、仏教では三千年に一度咲くといわれるようになったようです。

お経の中に「この花は三千年に咲く花で、この花が咲けば聖王もこの世に現れる」とか、「お釈迦さまにめぐり会って説法を聞くことは、優曇華の花が咲く時のようにめつたにないことである」と説かれています。

この木は古代インドより聖なる木とされています。また昆虫のクサカゲロウの卵をウドンゲといたり、バショウの花の異名にも使われます。



質問

私のお母さんはお寺や神社に行つてご朱印を集めています。ご朱印とはどういう意味がありますか。

(滋賀 小三 女子)

答え

ご朱印とはお寺や神社にお参りした時にいただける朱色の印のことです。

朱印帳という帳面にお参りしたところの印を押してもらい、同時にお寺や神社の名前またはご本尊の名前、お参りした日付を墨書で書いていただけます。

もともとは自分で書いて写したお経をお寺に納めた(納経といいます)証明としていただく印でした。それがいつの間にかお経を納めなくても、お参りした後に印をいただけるようになったのです。

ご朱印はお寺の名前やご本尊の名前が記してありますから、お札やお守りと同じ意味を持ちます。大切に扱う必要があります。

ご朱印をいただく時は、まずお寺に行つてご本尊や仏さまにお参りしてご挨拶をしてください。お参りした後にご朱印授与所に行つてご朱印をいただいでください。ご朱印は記念のスタンプではなく、確かにお参りしたという証明の印ということを覚えておいてほしいです。

「昔の子どもの遊び」③

みなさんは何をして遊んでいますか。遊びは時代によって変わってきます。昔はどんな遊びがあったのでしょうか。

今回は江戸時代の子どもの遊びを紹介します。今でも行われているものもあります。

たがまし

樽（お酒やおつけものなどを入れる木製の入れ物）のたが（金属や竹でできた輪）をT字形または三角形に作った竹で転がして走る遊びです。輪回しともいい西洋でも古代から



行われていたそうです。現代でも体育祭の競技でたがましをする学校もあります。ただ棒で輪を押して走るといふ単純なものです。子どもたちが夢中になる遊びです。

羽根つき



お正月の遊びで知られています。羽子板で羽根を打つ遊びです。一人で続けて突く「つき羽根」と二人で突き合う「追羽根」という遊び方があります。どちらも落とさずに突いた方が勝ちです。今でもお正月に遊ぶ子どもたちがいると思います。

また羽根つきは遊びとしてだけでなく厄払いの意味もあります。

手まり

まり、今というボールを手で突く遊びです。



昔は綿を丸めたものに芯にして、その上に糸を何重にも巻いたものを使いました。大きさはソフトボールより少し大きいぐらいです。外で地面について遊び、部屋の中ではひざまづいて遊びます。これもお正月の女の子の遊びとして流行しました。

明治のころから、よくはすむゴム製のボールが使われるようになりました。

おはじき

おはじきは中国から伝わった遊びで、最初に日本に伝わったのは奈良時代のころとされます。

今のおはじきはガラス玉をつぶして平たく

したような形をしていて、赤や青、黄色などさまざまな模様が入っていてとてもきれいです。

昔のおはじきは木の実や貝がら、小石などを使って遊んでいました。ガラス製になったのは明治時代に入ってからのことです。今ではプラスチックのものがあ、算数などの勉強の時に利用されています。

今の遊び方は、まずテーブルなどにおはじきを重ならないように広げます。はじくおはじきと取りたいおはじきを決め、おはじきの間に指で線を引くようにします。はじいたおはじきがねらいのおはじきに当たれば自分のものとなります。最終的にはおはじきの多く取った人が勝ちです。

地域によっていろいろなルールがあるようです。



これも仏教の言葉だよ!

「工夫」

工夫とは「話し方を工夫する」などと、いろいろな良い方法や手段を考える意味で使われます。

仏教で工夫とは功夫とも書き、仏道修行に専念するという意味です。禅宗では「座禅に励みよく考えて研究すること」を表します。

じっくりと考える姿から、日常生活の中であれこれと方法を考えることを「工夫する」というようになりました。



ちがいがし

みんなよう
考えよう



絵：岡本こずえ



前回の答え

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。
ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。
しめきり4月30日です。

送る先

〒833-0013

筑後市北長田706-2

林鐘院内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0942-5215524

FAX 0942-541189

お知らせ

◆みなさんからの記事 wait しています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait しています。絵や作文お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒833-0013 筑後市北長田706-2 林鐘院内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0942-5215524 FAX 0942-541189

感想もいっしょに書いてくださいね。

ぶくぶく編集室



みなさんのお家では犬か猫を飼っていますか。

犬は警察犬や盲導犬、介助犬、災害救助犬さらにはセラピー犬など、人間のためにいろいろな役割を果たしてくれています。それに対して猫には人の役に立つというイメージがあまりありません。でも猫もその特性を活かして人のお役に立っています。たとえばレッカー作業員のアシスタント・ホテルなどでのねずみ駆除・看護の助手・ゴキブリ駆除・警察署や図書館、博物館のマスコット・駅員・スーパーマーケットの警備などです。昔から犬や猫は人間にとって身近な存在です。さまざまな場所ですと人と関わっているのですね。